

コウゾリナ (顔剃り菜)

名前の意味：葉に生えている毛の^{かんしょく}感触がひげそり^{あと}後の顔のようにざらざらするから。

分類：双子葉類、キク科、コウゾリナ属

(キク科の^{さいばいしょくぶつ}栽培植物：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばたや空き地

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：地面を円くおおう楕円形の葉、ざらざらした感じの毛、たくさんつく黄色いタンポポのような花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：合弁^{ごうべん}、5裂^{れつ} (たくさんの花が集まってひとつの花に見える。1つの花の形は小さくてよく見えない)

花の時期：5－7月

食べ方：食べられない

見分け方：ノゲシは、葉に毛がなく、すべすべしている。葉に大きな切れ込みがある。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)